

3

数

学

松蔭大学附属

松蔭高等学校

令和3年度 松蔭大学附属 松蔭高等学校 入学試験問題

## 数 学

○ 注 意

1. 問題は①から⑤までで、5ページにわたって印刷してあります。
2. 指示があるまで中を見てはいけません。
3. 検査時間は50分です。
4. 計算が必要なときは、この問題用紙の余白を利用しなさい。
5. 解答はすべて解答用紙に明確に記入し、解答用紙と問題用紙は、別々に提出しなさい。
6. 検査番号、氏名を解答用紙のきめられた欄に記入しなさい。

**1** 次の問いに答えなさい。

(1)  $30 \div 6 + 5 - (-2) \times 4$  を計算しなさい。

(2)  $\left(\frac{1}{3}\right)^2 - 3 \times (-2) + 3^2 \times (-1) - \left(-\frac{1}{3}\right)$  を計算しなさい。

(3)  $\frac{2x-4}{3} - \frac{3x+1}{2}$  を計算しなさい。

(4)  $3a^2b^3 \times \frac{a^3b^2}{6} \div 4a^3b$  を計算しなさい。

(5)  $(x+y-2)(x-y-2)$  を計算しなさい。

(6)  $\frac{15}{\sqrt{6}} + \frac{\sqrt{24}}{2} - \frac{\sqrt{54}}{3}$  を計算しなさい。

(7) 1次方程式  $0.9 - x = -0.1x - 1.8$  を解きなさい。

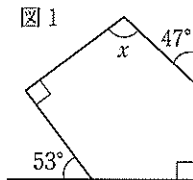
(8) 連立方程式  $\begin{cases} 3x - 5y = 2 \\ -2x + 3y = -1 \end{cases}$  を解きなさい。

(9) 2次方程式  $(x-2)^2 = x+10$  を解きなさい。

(10) 2次方程式  $12x^2 - 5x - 2 = 0$  を解きなさい。

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 2点(2, 2), (-4, 5)を通る直線の式を求めなさい。
- (2) 長方形の1辺が他方の辺より2cm長く、面積が99cm<sup>2</sup>であるとき、長方形の長い辺の長さを求めなさい。
- (3) 大小2個のサイコロを同時に投げるとき、出た目の数の和が8になる確率を求めなさい。



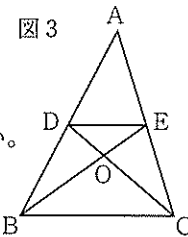
(4) 図1において、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

(5)  $\sqrt{60n}$ が自然数になるような、最小の自然数 $n$ を求めなさい。

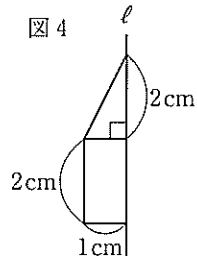
(6) 図2のように、樹木500本を1直線に3m間隔で植えていく。1本目から500本目までの距離は何kmか求めなさい。



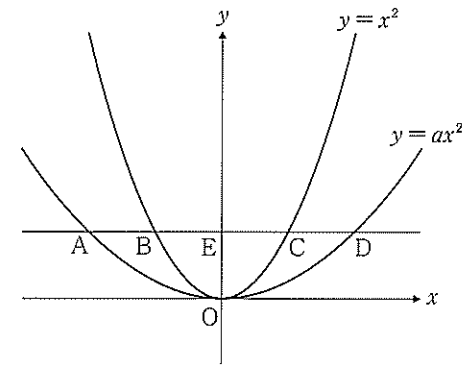
(7) 図3において、 $DE \parallel BC$ である。 $\triangle OED$ ,  $\triangle OBC$ の面積がそれぞれ4cm<sup>2</sup>, 16cm<sup>2</sup>であるとき、 $\triangle ABC$ の面積を求めなさい。



(8) 図4は長方形と直角三角形を組み合わせた図形である。この図形を直線 $l$ を軸として1回転させてできる回転体の体積を求めなさい。



3 図のように点E(0, 1)を通り、 $x$ 軸に平行な直線が、 $y=x^2$ ,  $y=ax^2$ と4点A, B, C, Dで交わっている。EC=CDのとき、次の問いに答えなさい。

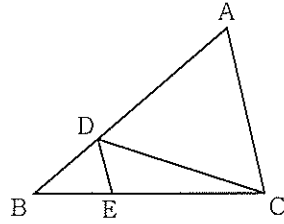


(1)  $a$ の値を求めなさい。

(2) 点P(0, 2)を通り、 $x$ 軸に平行な直線を引く。この直線と $y=x^2$ ,  $y=ax^2$ の交点を $x$ 座標が小さい順にQ, R, S, Tとする。このとき、線分QRの長さを求めなさい。

(3) (2)のとき、点Rを通り、 $\triangle ROS$ の面積を2等分する直線の式を求めなさい。

- 4 図のように、 $\triangle ABC$ において、辺  $AB$  上の  $\angle BDC = 2\angle A$  となる点を  $D$  とする。また、辺  $BC$  上に  $DB : DC = BE : EC$  となる点  $E$  をとる。このとき、 $DE \parallel AC$  であることを次のように証明した。空欄(ア)～(エ)に当てはまる適切な語句・式等を答えなさい。



**証明**

$\angle BDC$  は  $\angle ADC$  の外角だから

$$(ア) + \angle DCA = \angle BDC \cdots \text{①}$$

仮定より  $\angle BDC = 2\angle A$ ,  $\angle A = (ア)$  だから

$$\angle BDC = 2(ア) \cdots \text{②}$$

①, ②より

$$\angle DCA = (ア)$$

よって  $\triangle ACD$  は  $\angle DCA$ ,  $(ア)$  を底角とする  $(イ)$  だから

$$(ウ) = DA$$

したがって  $DB : (ウ) = DB : (エ)$  であり、 $BD : (エ) = BE : EC$  が成り立つ

点  $D, E$  は、それぞれ  $\triangle BAC$  の辺  $BA, BC$  上にあるので

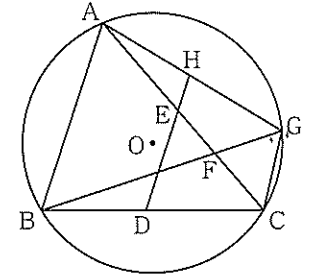
三角形と線分の比の定理より

$$DE \parallel AC$$

**証明終わり**

- 5 図のように、 $\triangle ABC$  の3つの頂点は円  $O$  の周上にある。点  $D$  は辺  $BC$  の中点、点  $E$  は辺  $CA$  の中点である。また、線分  $CE$  上に、 $\angle FBC = 30^\circ$  となる点  $F$  をとる。BF の延長と円  $O$  との交点を  $G$ ,  $DE$  の延長と線分  $AG$  との交点を  $H$  とする。AB = 6, BC = 7, CA = 8,  $\angle BAC = 58^\circ$ ,  $\angle ABC = 76^\circ$  のとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 線分  $DE$  の長さを求めなさい。
- (2)  $\angle AHE$  の大きさを求めなさい。
- (3)  $\triangle ABF \sim \triangle GCF$  となる理由を述べなさい。



<b>1</b>	(1)		<b>3</b>	(1)	$a =$
	(2)			(2)	$QR =$
	(3)			(3)	$y =$
	(4)			(ア)	
	(5)			(イ)	
	(6)			(ウ)	
	(7)	$x =$		(エ)	
	(8)	$x =$ , $y =$		(1)	$DE =$
	(9)	$x =$		(2)	
	(10)	$x =$			
<b>2</b>	(1)	$y =$	<b>5</b>	(3)	
	(2)				
	(3)				
	(4)				
	(5)	$n =$			
	(6)				
	(7)				
	(8)				

得点	
----	--

番号	番	氏名	
----	---	----	--